

国内最大規模の病院データベースが4000万人突破 コロナ影響分析など利活用ニーズ旺盛

医療データの一元化を目指すメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之、以下 MDV）は、保有する国内最大規模の大規模診療データベース（DB）の実患者数が4,001万人（2022年5月末集計）に達しましたのでお知らせいたします。

MDVは診療データ事業を2008年4月に開始、医療機関から二次利用許諾を得た匿名加工データの集積を続けてきました。2020年4月より健康保険組合データの集積も開始。回復期や慢性期のデータも充実し、病院・診療所別の情報のほか、転院先情報も追えるようになりました。健保データは777万人（2022年5月末集計）となりました。先月5月に業務提携契約を締結した株式会社ディー・エヌ・エー（同渋谷区、代表取締役社長兼CEO：岡村信悟）と共に、1,500万人超の保険者DBの構築を目指しています。

MDVの診療DBは現在、製薬会社、医療材料・機器メーカーの製品戦略や市場実態把握などに活用していただいています。アカデミアからのニーズもあり、論文作成や学会発表の元データとしての引き合いも活発です。最近では、改正GPSP省令（医薬品の製造販売後の調査及び試験の実施の基準に関する省令）が2018年4月に施行されたことから、「製造販売後データベース調査」のためのDBとして選択していただいています。

<DB活用事例>

・コロナ禍の他疾患の診療に対する影響の評価（東京大学プレスリリースから）

https://www.h.u-tokyo.ac.jp/press/_icsFiles/afieldfile/2022/04/22/release_20220425-1.pdf

・リウマチ患者で高血圧、脂質異常症が帯状疱疹のリスク上昇（愛媛大学が公表）

https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/publichealth/news_detail.php?RECORD_ID=75

<過去の関連プレスリリース>

・DeNAと国内最大規模1500万人超の保険者DB構築へ

2022年5月10日

https://www.mdv.co.jp/press/2022/detail_1755.html

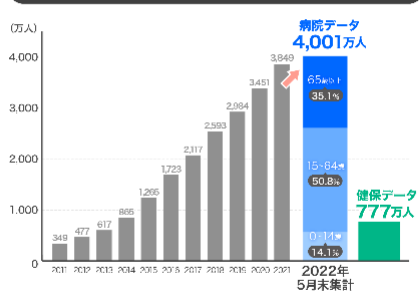
・昨年の新型コロナ流行時に糖尿病重症化予防ケアなど減少

米総合内科雑誌（Journal of General Internal Medicine）に掲載

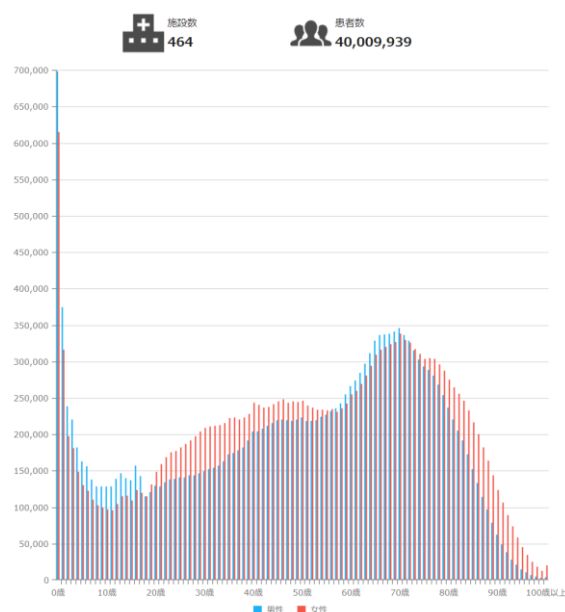
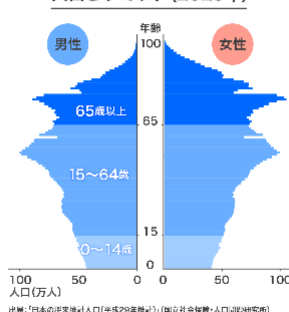
2021年1月22日

https://www.mdv.co.jp/press/2021/detail_1462.html

診療データベースの実患者数推移



人口ピラミッド (2025年)



上記は、最新DBが反映された
WEB分析ツール「MDV analyzer」の画面

<本件に関するお問い合わせ・取材のお申込み>

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報室 君塚・赤羽・汲田

TEL : 03-5283-6911 (代表) e-mail:pr@mdv.co.jp